

第1編 工事等の概要

第1章 工事概要

1. 全体工事概要

東環状大橋（仮称）建設工事

- ・ 橋長 L = 1,291m
- ・ 幅員 W = 26.3 ~ 32.3m（4車線、両側歩道）
- ・ 河川内橋脚 1 3基（P2 ~ P14）、陸上橋脚 1基（P1）、陸上橋台 1基（A2）
- ・ 干潟部（P1 ~ P5）橋梁形式：
4 径間連続ケ - ブレイグレット鉸桁橋（575m）
- ・ 一般部（P5 ~ A2）橋梁形式：
5 径間連続ラ - メン鉸桁橋 × 2（716m）



工事実施場所

2. 工事進捗状況

工事7年次における進捗状況は、図1-1「平成21年度 発注及び工事進捗状況」に示したとおりである。

3. 平成21年度工事の作業内容

平成21年度工事の作業内容は、表1-1「平成21年度 工事作業工程表」に示したとおりである。

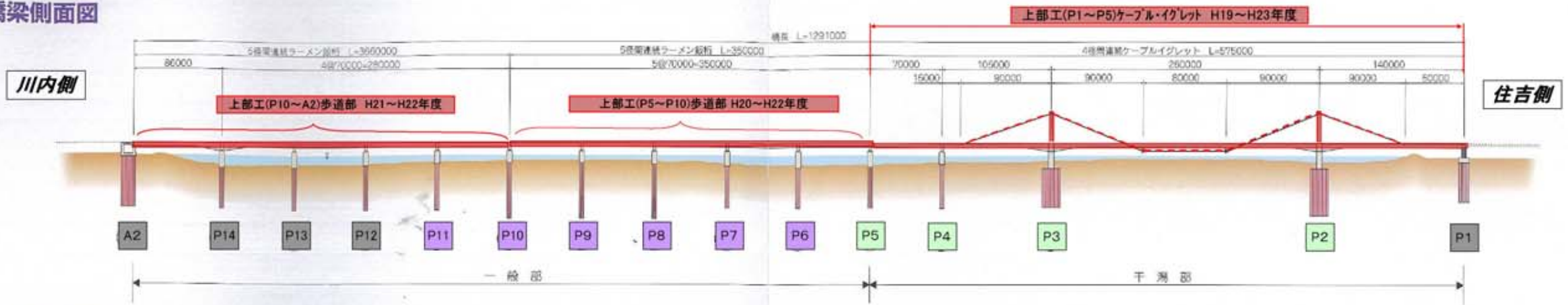
工事期間は、非出水期の11/1~5/31に限定されており、その中でも4月と5月はシギ・チドリの渡りの最盛期なので、騒音の大きい鋼管矢板打設は禁止している。

浚渫等の作業時には、汚濁防止膜を設置し濁りを軽減している。

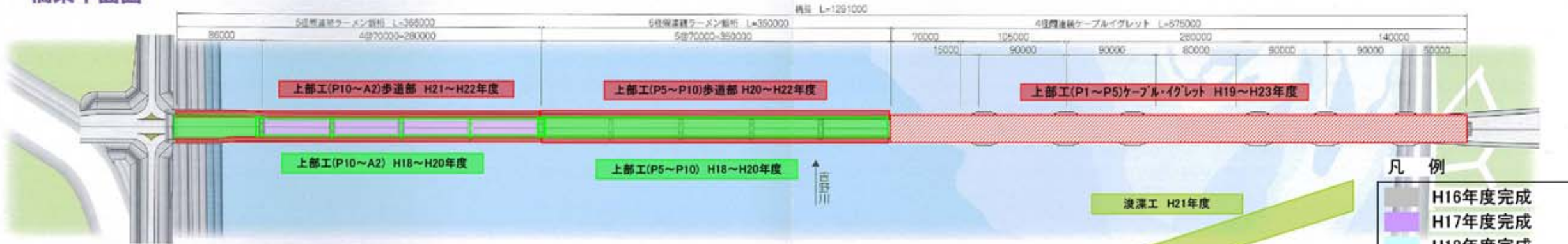
(都)徳島東環状線・東環状大橋(仮称)
徳島市住吉6丁目～川内町鶴島

東環状大橋(仮称)の全体一般図

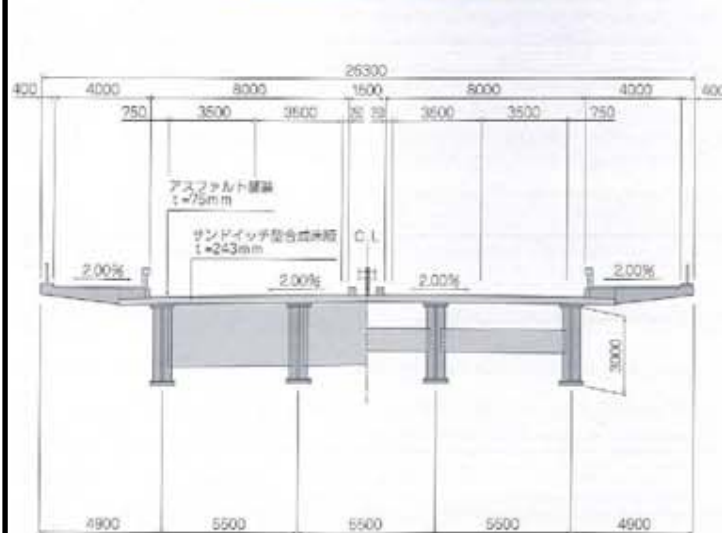
橋梁側面図



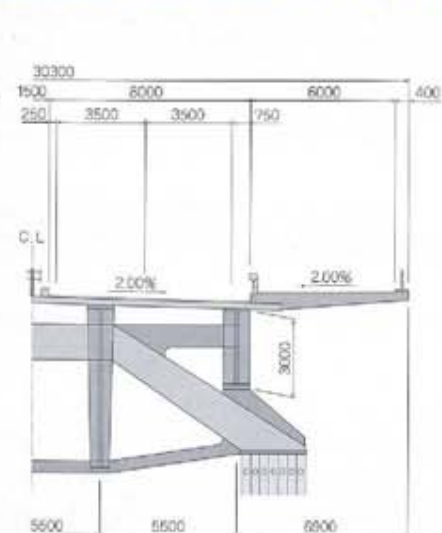
橋梁平面図



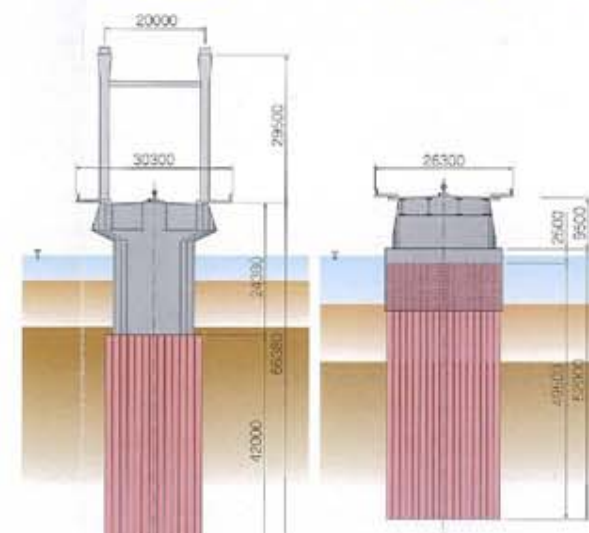
上部工標準断面図



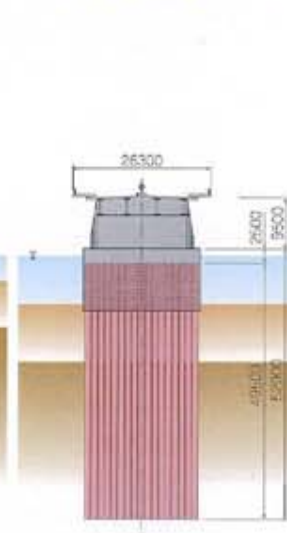
上部工標準断面図(サドル部)



P2橋脚



P7橋脚



計画諸元

橋梁名称	東環状大橋(仮称)
道路規格	第4種 第1級
設計速度	V=60 km/h r
設計荷重	B活荷重
橋長	L=1291.0m
橋梁形式	干潟部 4径間連続ケーブルイグレット鈹桁橋 一般部 5径間連続ラーメン鈹桁橋×2
径間割	ケーブルイグレット 140+260+105+70=575m ラーメン鈹桁 5@70=350m ラーメン鈹桁 4@70+86=366m
幅員	全幅 26.3m～32.3m(A2橋台幅部) 車道 (8.0m～11.0m)×2, 歩道 4.0m×2
下部構造	壁式RC橋脚, 壁式SRC橋脚, ラーメン式RC橋台
基礎構造	鋼管矢板ウェル基礎, 中掘りSC杭基礎

図 1-1 平成 21 年度 発注及び工事進捗状況

表 1-1 平成 21 年度 工事作業工程表

作業場所	工 種	工 事 内 容	濁水処理	平成21年												平成22年			
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
一般部 P5~P10 (上・下流側)	準備工(測量)	起工測量(平面測量),既設サンドイッチ型複合床版の出来型計測	濁水発生無し	■															
	歩道部鋼床版架設工	既設床版上よりラフタークレーンにて張り出し鋼床版を架設	濁水発生無し																
	鋼床版現場溶接工	鋼床版と既設サンドイッチ型複合床版,鋼床版同士のデッキを溶接接合	濁水発生無し																
干潟部	P1~P2間 (堤防部含む)	B1~B4ベント設備工	B1~B4ベント設備の組立て施工	濁水発生無し															
		P1~J5主桁等 架設工	トラッククレーンベント工法にて架設後,足場・板張防護工設置	濁水発生無し															
		主桁等 現場継手工	主桁フランジを現場溶接後,ウェブ・横桁・下横構を高力ボルト接合	濁水発生無し															
		B5~B7ベント杭施工	パイプロハンマーによるH鋼杭の打設	汚濁防止膜を設置し濁りを軽減															
	P2橋脚部 (河川上)	足場設置工,鉄筋工,型枠工	橋脚工事用の足場設置工,鉄筋工,型枠工	濁水発生無し															
		配管架台設置・撤去工	堤防からP2躯体コンクリート打設のため配管架台を設置・撤去	濁水発生無し															
		コンクリート打設工	堤防から配管を用いてコンクリート打設	濁水発生無し															
	P3橋脚部 (河川上)	足場設置工,鉄筋工,型枠工	橋脚工事用の足場設置工,鉄筋工,型枠工	濁水発生無し															
		コンクリート打設工	CP船にてコンクリート打設	濁水発生無し															
		剛結部桁ブロック等架設工	剛結部主桁,横桁,主塔基部を起重機船にて架設	濁水発生無し															
剛結部現場溶接工,現場塗装工		上記架設部材を溶接,高力ボルトにて本接合後,現場塗装の施工	濁水発生無し																
河川内	堤防~P2間上流側	航路浚渫工	バックホウ浚渫船にて航路を浚渫	汚濁防止枠を設置し濁りを軽減															
	P4~P5間, P8, P11橋脚	浚渫土埋戻し工	橋脚周りに浚渫土砂を投入	汚濁防止膜を設置し濁りを軽減															
	P8, P11橋脚	袋詰玉石設置工	橋脚周り根固め工	濁水発生無し															

4. 平成 21 年度の現場状況

平成 21 年度の現場状況は写真 1~写真 11 のとおりである。



写真 1 工事区域全景 上空より(平成 22 年 4 月)



写真2 足場設置工,配管架台設置作業状況(干潟部:P2) (平成22年1月6日)



写真3 ベント設備作業状況(干潟部:B3,B4) (平成22年1月26日)



写真4 歩道部鋼床版架設作業状況(一般部) (平成22年2月3日)



写真5 主桁架設作業状況(干潟部：県道上) (平成22年2月16日)



写真6 コンクリート打設作業状況(干潟部:P2) (平成22年2月18日)



写真7 剛結部桁架設作業状況(干潟部:P3) (平成22年2月20日)



写真8 主桁架設作業状況(干潟部：堤防上) (平成22年2月23日)



写真9 鋼床版現場溶接作業状況(一般部) (平成22年3月8日)



写真 10 ベント杭施工作业状況(干潟部：B6) (平成 22 年 3 月 19 日)



写真 11 航路浚渫作業状況(河川内) (平成 22 年 3 月 19 日)